

## 令和5年11月22日 市長定例記者会見 会見録

### ◆司会

それではただ今から、市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
市長、よろしくお願いいたします。

### ◆市長

よろしくお願いいたします。今日は、発表案件は2件です。

1つは「企業立地総合サポート窓口の設置」という、これは今、経済情勢、上向きになっていて、企業の高い投資意欲があります。静岡市においても、「生産拡大したい」とか、あるいは「設備の高度化をしたい」「DX・GXに対応したい」、そのために「既存の事業所が手狭になった」、あるいは「分散しているので集約をしたい」、そのようなニーズ・お話がいろいろあります。積極的に投資をしたいという意欲が高まっています。静岡市としては、このような投資動向を踏まえて、企業の未来に向けた積極的な投資を促進していきたいのですが、残念なことに静岡市の場合は、企業が立地するための用地が少ないということが弱点になっています。このために、そういった企業からの特に用地需要、用地に対する問い合わせや相談について、しっかりと対応していくために、今年の9月1日に「企業立地総合サポート窓口」を設置しました。ここで、そういったご相談・問い合わせを一元的に受け付けて、「こういった場所がある」とか、あるいは「こうした方がよいのではないか」というようなことを、一緒に考えていく。そのような窓口になっております。とりわけ、最大の課題となっている企業立地用地の確保については、先行して取り組む具体的なエリアを設定して、あるいは低利用地、こういった所の集約や用地の早期提供に向けた仕組みの構築を進めて、用地の創出を実現していきます。

総合サポート窓口は9月1日に設置したのですが、しっかりとした広報ができていませんでしたので、改めて、ここで「企業立地総合サポート窓口」を設置したということをお知らせいたします。ぜひお気軽にご相談いただければと思います。

具体的な窓口は、そこに示している通りですけれども、具体的に何をやっているかということですが、単に相談を受け付けるだけではなくて、「立地推進プロジェクトチーム」というのを、今、作っております。これは本田副市長をプロジェクトリーダーとして、企業からのいろいろなご要望がありますので、それについて「こうやった方がよいのではないか」というようなお話があれば、それを受けて規制緩和であるとか、用地のまとめ方だとか、そういうことについて検討していくチームになります。

次のページになりますけれども、具体的にどの場所を想定するかということですが、どの場所についてもご相談はお受けするのですけれども、とりわけその未利用地が点在していて、交通の便が良いという所が、清水区の庵原にあります。このエリアは、農地が点在していて、なかなかまとまった企業用地が創出できないという状況にありますけれども、これはやり方によっては、企業用地が早く提供できる可能性がありますので、ここをモデル用地にして、ここでのやり方をしっかりと構築して、それを横展開していく、他のエリアにも広げていく、こういった取り組みをしたいと思っております。ぜひとも、いろいろなご相談をいただければと思います。

それから2番目は、「静岡マラソン」についてです。この「おもてなし・しぞーか」、仮称ですけれども、これを設置することにいたしましたので、このお知らせです。マラソンについては、「静岡マラソン」ですけれども、これは制限時間が5時間30分とちょっと短いのが特徴といえますか、難点となっています。したがって、好記録を目指すランナーが主に出場されることになるわけですが、やはりマイペースで走りたいというランナーもおられますし、あるいは好記録を狙ったのだけれど、途中で体調が悪くてリタイアということもあります。そういった方々にも、ぜひ、このマラソンを楽しんでいただきたいと思っております。一次募集をしました。11月14日の締め切りで、1万2,000人の定員に対して、1万500人の応募をいただいております。本当にありがとうございます。今、11月16日から二次募集を開始していますけれども、好記録を狙うランナーの皆様のエントリーだけではなくて、静岡マラソンを楽しんでもらうランナーのエントリーもしていただきたいと思っております。

そこで、先程申しましたような、当日の体調等により早い段階で制限時間を超えてレースを終了することになったランナーや、マイペースで走りたいというランナーに、静岡マラソンを一層楽しんでいただきたいということで、中間地点あたりでレースを終了される方を対象に、この「おもてなし・しぞーか」というゾーンを設けて、ここでおもてなしをしたいと思っております。概要については、第4関門というのがありますけれども、図面がついていると思いますけれども、安倍川の河口の西側あたりになりますけれども、そこに、このゾーンを設けたいと思っております。第3関門・第4関門でリタイアされた方、あるいはリタイアというのは、制限時間を超えて、「もう、これ以上走れない」というランナー、そして第3関門・第4巻は通過したのだけれど、「ちょっともう、これ以上は無理だな」という方は、ここでレースを終えていただいて、このおもてなしエリアがありますので、ここまで歩いて行っていただいたり、あるいは第3関門からのバスでお送りしますので、第3関門は18キロ地点ですけれども、そこから22キロ地点にある所までバスでお送りして、22キロ地点で楽しんで

いただきたい。こういうものです。こういうものも用意しておりますので、いろいろな方に、マラソンを楽しんでいただきたいなと思います。発表事項は以上です。ありがとうございました。

◆司会

それでは、ただ今の発表につきまして、皆様からのご質問をお受けしたいと思います。ご質問のある方は挙手の上、社名とお名前をおっしゃってからお願いいたします。いかがでしょうか。中日新聞さん、お願いいたします。

◆中日新聞

中日新聞です。静岡マラソンなんですけど、今の時点で定員に達していないということなんですけども、この人数だと、黒字にはなるんでしょうか。

◆市長

はい。もう十分それを想定した上で、収入・支出を考えてやっていますので、現時点では赤字にならない見込みです。

◆司会

その他いかがでしょうか。発表案件につきましては、よろしいでしょうか。それでは幹事社質問をお願いいたします。テレビ静岡さん、お願いいたします。

◆テレビ静岡

幹事社のテレビ静岡です。よろしく申し上げます。「リニア中央新幹線の工事に伴う環境保全策を議論する国の有識者会議」が、今月7日、国交省がまとめた報告書案を大筋で了承しました。生態系への影響については、静岡工区の地元、静岡市でも懸念する声があると思いますが、報告書の方向性がまとまったことへの受け止めと、内容についての意見、また今後、市としてどのような姿勢でこの課題に取り組まれていくのか、教えてください。

◆市長

はい。国の有識者会議の生態系についての議論ですけれども、1年5ヶ月、会議にすると14回開催されて、その中で丁寧な議論が行われたと認識をしています。科学的根拠に基づく議論によって、南アルプスの生態系と、この場所の環境影響評価の方法・あり方、これについての知見が非常に高まったと思っております。それらの議論が取りまとめられた報告書が示されて、大筋で今、了解されているという状況です。どう受け止めているかということですが、

有識者会議では論点に沿って、科学的根拠に基づいて精緻な議論がされていると思っています。一部不十分な声があるという声はありますけれども、完璧なものが求められることもありますけれども、そこで終わられたというひとつのご判断だと思います。これからどうするかということですが、市としては、市の協議会がありますので、その有識者会議の報告書を、市もそうですし、委員の先生方にもしっかり読み込んでいただいた上で、委員の皆様と議論をさせていただいて、それを参考にして、市の見解をまとめていきたいと思っています。この報告書、国の有識者会議の報告書がなければ、とてもこれ以上、上にはいけないわけで、かなり精緻な議論で相当の高みまで進み上がっていると思いますので、それから先、一部不十分なところがあるのは事実だと思いますけれども、それらを市の協議会の委員の先生方と一緒に議論して、最終的なと言いますか、市の見解をまとめていきたいと思っています。

市の協議会ですけれども、12月には開催したいと思っておりますけれども、まだ燕沢の盛り土の問題が残っておりますので、それをやった上で、生態系にも少し触れていく、そんなところから始めたいと思っています。以上です。

#### ◆テレビ静岡

今、市としての見解を協議会で示すと、おっしゃいましたけれども、協議会で出た内容は、どこかにまた示すというか、国とか、県ですとかに送り返すというか、何かそういったことは考えてますか。

#### ◆市長

あくまでこれは、JR東海の影響評価に対しての市の見解になりますので、それはJR東海に対して出すというのが、まずひとつだと思います。それからもうひとつは、これは、県の環境影響評価条例に基づいてやっていますので、この条例に基づいて、意見を出すのは県が出すわけですから、県に対しても、静岡市としては「こういうことを考えている」というのは、ご報告をしたいと思っています。ただ、これは、市の見解を静岡県に伝えますので、静岡県がそれをどういうふうに扱うかは別問題ですけれども、ただ一方で、リニアの事業が行われる所は静岡市の行政区域の中ですから、静岡市としては、静岡市の見解をしっかりとまとめて、JR東海と直接いろいろな議論を進めていきたいと思っています。以上です。

#### ◆テレビ静岡

ありがとうございました。

#### ◆司会

それでは、ただ今の幹事社質問に関連したご質問があれば、お受けをしたいと思いますが、いかがでしょうか。毎日新聞さん、お願いいたします。

#### ◆毎日新聞

はい。リニア関連ですが、先日、南アルプスのエコパークでの動植物の環境調査の報告書が公表されましたけれども、その中でリニアの工事に伴って、改変が予想されるところで、JR東海が希少植物の移植であったり、種を撒いたりした所の追跡調査、市がやったことがまとまったわけですけど、その中で種があまり成長しないってことは、前回の調査でもわかっていたと思うんですけど、今回移植した希少種についても、追跡で調査したら、だいぶ育ちが悪いということで、報告書の考察でも希少種の移植の長期的な根付けというのは困難度が高い、というふうにまとめていました。それで、その結果の受け止めを、まずお聞きしたいのと、この報告書をJRにも提供すると聞いてますけれども、その際に「根付けが難しいですね」で終わらせるのか、現時点でJRに何らかの対策であったり、違う方法、思い浮かびませんが、何らかのことを求めていく考えがあるのか、そのあたりをお聞かせいただけますでしょうか。

#### ◆市長

はい。ありがとうございます。調査自身については、哺乳類・両生類・淡水魚類・植物4種類になっているわけですけども、それらについては、ちょっと別にして、とりわけ植物について、今、ご質問は植物の件だと思いますので、植物について、どういう調査をしたかということですけども、沢への植生の調査をしましたが、もうひとつ大事なことは重要な植物について、JR東海が代償措置として移植等を実施したものの、それがその後、生育状況がどうなったかということ把握するために、市では移植先を踏査して、対象種の生育状況を確認したわけです。その結果、種によっては、移植は一定の効果があったのですが、多くの種では、2019年度から2021年度までの3年間の調査時と比較して、生育が確認された個体数が減っているということです。移植個体の長期的な根づかせというのは、うまくいくのもありますけれども、多くの種では非常に難易度が高いということがわかったということになります。環境影響評価では、影響の、まずは可能な限り回避・低減ですので、移植にすぐに頼るのではなくて、まず影響を回避・低減しましょう、できない場合は、その代償措置として損なわれた部分を何とか今のような移植等で代償しましょう、ということになります。今回の調査結果というのは、やはり、これは重く受け止めざるを得ないと思っています。希少な重要な種において、植物の種類ということですけど、重要な

種において、移植等することで、種の消滅に影響を、代償しようとしたが、それが環境保全の措置として認められてはいるわけですが、今回やってみただけです。これは実験ではなくて、実際に実施した、代償措置として実施したということになります。その結果、長期的な根付かせについては不十分な結果であるということが、確認されたということになります。

したがって、今回の問題もありますけれども、今回の問題というのは、今回移植等をした所もありますけれども、これから南アルプスの環境保全措置について、影響が出る所、例えば、沢が小さくなることによって、そこで植物に影響が出てきた時に、それをどう代償措置をするかということが問題になってきますけれども、代償措置としては、移植あるいは別の所に種をまくというようなやり方は、非常に不確実性が高く、かつ難易度が高いということですから、そういう方法に頼ることは、慎重にならざるを得ないということがわかったと思っております。

したがって、JR東海に対してということですが、JR東海に対しては、このことをしっかり伝えて、これから市の協議会の中で、生態系の問題について扱っていくことになりますから、その中で、環境影響評価について、植物の存在にどのような影響が出て、それが減少した生息範囲、生息・生育範囲が減少したことをどうやって補うかということについて、JR東海としっかり協議・議論をしていく、意見交換をしていく必要があるというふうに思っています。以上です。

#### ◆毎日新聞

今のお話の中で、まず、第一には影響の回避があつて、それでも駄目なら移植等の措置ということで言いますと、移植等の措置が難しいということがわかったということは、逆に、遡って影響の回避っていうのもっと何か考えないといけないのかな、とも思えるんですけども、そこまで遡るような議論というのも、今後、行われる可能性ってのはあるんでしょうか。

#### ◆市長

ここの部分は、それでそういう事実だということで、改めてこの部分の回避・低減はできませんので、今回代償措置を行ったけれども十分ではなかったということを踏まえて、これからどうしていくのかということを考えていかないといけないと思っています。環境への影響は、これから行われる工事の方が大きいわけですから、それに対してどういうふうな措置を講じていくか、今まで代償措置として機能しなかった部分を補ってまで、さらなる代償措置ということを次の段階で考えていく必要があると思っています。

◆毎日新聞

はい。ありがとうございました。

◆司会

その他、幹事社質問に関連したご質問いかがでしょうか。中日新聞さんお願いいたします。

◆中日新聞

リニアに関連してなんですけど、先日20日に環境政策監が就任いたしました。この織部理事は、県時代の市長の直属の部下ということで、共にリニア問題に取り組んでいらっしやったということで、一部報道では市長が県から引き抜いたということも言われてますけど、改めて起用の狙いをお聞かせください。

◆市長

リニアの問題もありますけども、今、カーボンニュートラルですね。循環型社会の構築ということで、環境分野への取り組みの強化が必要だと思っています。その点で、私、4月に市長になったのですけれども、環境分野において、やはり、この分野の専門家と言える人が、そういう指導の強化が必要だと、ずっと思ってきました。リニアというよりも、もちろんリニアの問題もありますけれども、それ以上に、環境、特に循環型社会の構築は、カーボンニュートラルのための、脱炭素のための取り組みの強化が必要で、それをずっと、例えば、局長さん、何年かごとに変わりますけれど、局長が変わるのではなくて、しばらくの間、しっかりその分野を見ていくという人を置くことが大事だと思っていました。その点で、前々から織部さんがどういう人物かというのは、よくわかっていましたので、織部さんをお願いできればいいなとは思っていましたが、ご本人の都合もあるし、それは県の都合もありますから、おいそれとはお願いできないので、織部さんの意向をお待ちしていたという状況ですね。

10月に退職されましたので、そこで改めて本人の意向確認と、そして、市の中での採用面接を行って、来ていただくことになった。こういう流れです。引き抜いたとか、いろいろなことが言われていますけれども、聞かれてないことをお答えしますけれど、誰に要請したかということは、本人にしか要請しておりません。県には要請しておりません。織部さんを引き抜くというお話でしたけれど、こっちに来てほしいというような要請は、県にはしておりません。ただ、来ていただくにあたって、いきなり何も話をせずというのは失礼ですから、「もし、お辞めになったら来ていただきたいのですけれど」という仁義は、仁義とはちょっと変ですね、言い方、悪いですね。というご説明は、一応、

ご挨拶は一応しております。そんな状況です。

◆中日新聞

ありがとうございます。今、環境全体の分野で強化が必要ということでしたけど、リニアの分野ではどのようなことを織部理事に期待されますかというのと、今後、市の協議会にも市長と共に出席なさるのでしょうか。

◆市長

はい。リニアについては、正直申しますと全てがわかっているということですね。水問題から生態系の問題まで、ずっと県の中で担当しておられましたし、そして、国の有識者会議にも、私と一緒に出席していて、その後の例えば記者会見の様な場も一緒に同席していましたので、そういった面で、あるいは流域の、その他の市長の皆さんとの意見交換のような場にも出席していましたので、そういった面では、リニア問題については一番詳しい方、全てを知っているということになります。

したがって、やはり、ある専門性の、ある分野を何かということではなくて、リニアのいろいろな問題で、どこにどのような環境影響が生じるかという科学技術的な問題に特化してではなくて、全体を知っていて、どういう方向に持っていったらものがうまく進むかということを知っている人物ですので、そういうことを期待しております。

したがって、協議会であるとか、あるいは流域の市長の方々との、例えば意見交換というのがあれば、織部さんには出席していただきたいと思っています。

◆司会

その他いかがでしょうか。では、幹事社質問に関連したご質問は以上とさせていただきます。それでは、その他のご質問をお受けしたいと思えます。その他のご質問いかがでしょうか。静岡第一テレビさん、お願いいたします。

◆静岡第一テレビ

すいません、静岡第一テレビと申します。よろしく申し上げます。アリーナについてお伺いしたいんですが、今まだ調査を進め、アリーナについて、静岡駅のアリーナについてお伺いしたいんですが、今はまだ調査を進めている段階だと思うんですが、進捗等について市長にご報告等はございますでしょうか。

◆市長

はい。常に頻繁に意見交換をしています。内容も。



◆静岡第一テレビ

そうですね、少し、もしお伺いできれば。

◆市長

まず調査について、どういうアリーナがよいのかとか、どういう手法を、契約も含めてどういう方法がよいのかといったことを、詰めていかないといけないわけですが、これについて、9月に調査業務の事業者と契約して、事業手法等の、今、検討を進めています。アリーナの概算費用であるとか、事業収支、経済波及効果、こういったものを今、整理しているところです。

それからもうひとつは、今の契約とは関係なく、今度はアリーナについて、民間事業者の方々がどのような関心を持っておられるかということの、いわゆるヒアリングをしています。お考えをお伺いするということを進めています。これは事業費や、それから興行、イベントですね。イベントの需要をどう考えているか、あるいは採算性について、どのように考えておられるか、民間事業者が参画するためには、どういう条件、契約条件も含めてどういう条件が必要か、あるいはどのような制度が必要か、そのあたりを確認するために、9月から1ヶ月くらい、調査・ヒアリング・意見交換をしております。

非常に多くの事業者の方々から関心をいただき、貴重な意見をいただきました。貴重な民間事業者の生の声と、そして、契約したコンサルタントのいろいろな詳細な分析と、これを併せて年内には、市としての暫定的ですが、アリーナについての判断材料を揃えていきたいと思っています。

それから、もうひとつはアリーナだけではなくて、これも、やはり、まちづくりの観点が必要です。渋滞であるとか騒音であるとか、いろいろなご懸念がありますが、それを回避するというのではなくて、その回避はもちろん重要ですが、より積極的に、あそこにアリーナができることで、まちづくりが変わる。あるいは交通体系をどうするか、そういったことについての検討も必要ですので、その検討も今、行っているところです。そういったことを踏まえて、地域住民の方々には、そのようないろいろなご懸念について、ご説明していくということも必要だと考えています。そんな状況にあります。

◆静岡第一テレビ

はい、すいません。ありがとうございます。もう一点アリーナについて、今、事業者からもヒアリングしているという話がありましたが、改めて静岡市でもある程度収益性が見込めるというふうに、市長はご見解をお持ちでしょうか。

◆市長

収益性というのは、例えば、市が施設整備費を 100%出して、運営はお願いします、ということになれば、採算性は必ず取れます。ですが、それですと公設民営で、公設民営の時は、普通は民営の時、例えば、指定管理をする時は指定管理料を払いますけれども、指定管理料を払わなくても、運営は十分成り立っていくような採算性はあります。しかし、市が 100%、施設整備をするということは、私はやるべきではないと思っていますので、採算性が取れる範囲内で、つまり民間事業者が運営に参加できる範囲内で、市の公的負担をどこまで下げられるのかというのがポイントだと思っています。そういった面で、採算性を高めるためにはどうしたらよいか、それによって公的負担をどこまで下げられるのか、それがポイントになるとと思っています。いずれにしても、採算性は必ず取れる事業から、もちろん採算性リスクはありますけれども、通常にやれば採算性は取れるという事業だと思っています。

◆静岡第一テレビ

はい、すみません。ありがとうございます。

◆司会

その他いかがでしょうか。SBSさん、お願いいたします。

◆SBS

SBSと申します。清水の特養ホームで起きた横領事件につきまして、公金が投じられる特養ホームでのこういった事件ということで、それに対する受け止めと、今後、類似した事案が起きないために、市として何か対策を強化することがありましたら、教えていただきたいです。

◆市長

はい。昨年末に、市の定期監査で用途不明金が、把握を、その段階で用途不明金を把握いたしました。その後、速やかに特別監査や改善勧告、これを行うとともに、警察への情報提供や刑事告発等の対応を行ってきたところです。そういった点で、定期の監査で事実がわかったということは、定期監査がしっかり機能していたということで、これは大変重要なことだと思っています。したがって、他の事例ということですが、やはり、こういうことが起こりうるということを前提に、定期の監査をしっかりとっていくということが、まずは必要だと思っています。もうひとつは、この施設そのものについて、どうするのかという問題もあります

から、これについては、特に入所者の方が不安に思ってもらえる可能性もありますので、直ちにその入所者に、この問題が影響するとは考えていないんですけれども、不安をお持ちの方もおられると思いますから、市としてはそのような不安に寄り添った対応をしていきたいと思っています。

そして、この施設そのものの経営の健全化については、これから改善勧告等もしておりますから、しっかり、その改善内容の確認作業等を実施して、健全な経営がされるように指導していきたいと思っています。以上です。

#### ◆SBS

ありがとうございます。

#### ◆司会

その他いかがでしょうか。中日新聞さん、お願いいたします。

#### ◆中日新聞

清水区三保の井戸等で検出が続くPFASについて伺います。今月末までの対応策を公表するということでしたけども、進捗状況はいかがでしょうか。前回の会見で表明された三者協議会は場所も時間も非公表ということですが、もう実施されたんでしょうか。

#### ◆市長

はい。まず、今の検討状況ということですがけれども、少し状況を変えていかざるを得ないかなというところにあります。11月中に公表する予定としていましたが、かなり遅れるような状況にあります。まず、それはなぜか、ということですがけれども、PFASについては暫定値ということで公表してきました。その後、様々な検査結果が出てきて、それを私自身も見て、評価したところ、どうも測定結果に理解できないようなデータがあるので、改めて、この暫定値ではなくて、しっかりとした検査方法の信頼性のチェックを行うべきではないか、というふうに思っています。

したがって、要するにバラつきが結構あるというところですね。そうすると、今、市の環境保健研究所で調査をしていますけれども、そこだけではなくて、複数の検査機関で同じ検体を検査して、バラつきを確認した上で、検査結果の信頼性というのを確認したいと思っています。やはり、これは非常に関心が高く、そして、住民の方々の不安も大きい問題ですので、やはり信頼性のある検査数値をもって、しっかりとした議論が必要だと思っています。

したがって、この暫定値の調査結果という公表をやめて、今、もう一度、検査

結果の信頼度を確認したいと思っています。その上で、改めて結果を評価して、その上で、対応方針を考えたいと思っています。

ただし、高い濃度が出て、その検査結果に信頼度がどの程度あるかの確認は必要ですけれども、高いPFAS濃度が出ているということ、これは事実ですから、濃度を下げる対策については、新たな調査結果が出てから待つということではなくて、速やかに、どういう方法、どういう方法というのは、排水のPFAS濃度、そして、地下水のPFAS濃度をどうやって下げるかという対策について、検討を進めていきたいと思っています。

それから、三者協議については、覚書を結んで、これから説明会をしっかりとやることにしておりますが、連絡会は、まだ正式なもの開催していません。覚書とか、そういった協議を行っているところですので、やはり、今、11月に調査結果が、先ほどの信頼度については、もう1回、しっかり見る必要がありますけれども、ある程度のものが出てきますから、それを踏まえた上で、三者の連絡会を正式に開催したいと思っています。そんな状況です。

#### ◆中日新聞

今、市長がおっしゃった測定結果に理解できないデータがあるとおっしゃったのは、先日発表された毎日測定している、あの水路の部分でしょうか。

#### ◆市長

いや、それも実はあるのですけれども、あとは地下水の濃度分布ですね。それで、例えば、ちょっと離れた所の方が大きかったりするということがありますので、離れた所というのは、工場より離れた所の方が大きいということもありますので、あるいは、あまり濃度が低減しないということがあるので、ちょっと考えにくいので、もう一度そこをしっかりと分析しておかないといけない。だから、例えば100ng/lと出た時に、よく言う信頼度がありますけれども、それが真の値は100で、それがひょっとすると、検査誤差で150出ているのか、ということを確認しておかないと、やっぱりよくわからないわけですよ。だから、検査の信頼度がどの位、100と言っているけれども、それは90から110の間のどこか、という位の信頼度かどうかですよ。ちょっとわかりにくいかもしれませんが、どうしても測定データにはバラつきといいますか、絶対値がポンと出るわけではありませんので、測定誤差が出てきます。その測定誤差が50から150という値の位のバラつきの中で100という値が出ているのか、90から110台の間で100というデータが出ているのかによって、ちょっと扱いが違いますので、そのあたりの確認が必要かなと思っています。

◆中日新聞

あと、複数の機関での検査っていうのは何ヶ所でやるのかということと、今後の市の地下水だったり、井戸の調査は全てその方法でやるのでしょうか。

◆市長

調査は、信頼度は3ヶ所でやりたいと思っています。2ヶ所でやると、どちらがより信頼度が高いのかわかりませんが、3検査機関でやると、2つが高くて1つが低いと、やはり、この2つの方がより信頼度が高いということになりますから、その中でどういう検査方法でやっていて、その違いが出てくるのかというようなところをお互いに意見交換しながらやると、より信頼度が上がりますので、そういった面で、まず3つの視点でやりたいと思っています。その上で、検査はやはり、市の研究所、環境保健研究所でやりたいわけですので、それが迅速ですし、費用的にも一番安価ですから、そうすると信頼度を確認して、検査方法を確認して、一番信頼度の高そうな方法を選んで、それ以降は研究所でやるものを信頼度があるものとして扱っていきたいと思っています。

◆中日新聞

あと最後なんですけど、あと1週間に1度のペースで速報値を公表していくというのも、これも取りやめるのでしょうか。

◆市長

そうですね。ちょっとその信頼度がないデータを出すことで、混乱を招くのはよろしくないなので、ちょっとしばらくの間、データの公表は控えたいと思っています。

しかし、今まで出てきたデータについては、もう既に公表しておりますので、それを取り消すようなことはいたしません。今まで出てきたデータは、高いデータが出てきますから、それは高いものとして扱う必要がありますので、ただし、これから出すものについては、もうちょっと信頼度をしっかり確認した上で出したいと思っています。

◆中日新聞

そうすると次の速報値が公表されるのは、いつくらいを目処にやるおつもりでしょうか。

◆市長

ちょっと目処が今、立たないんですけれども、12月の中旬くらいまでにはした

い、2週間遅れくらいでせめてやりたいな、と思っています。

それから、もうひとつ地下水の流動解析、こちらもやっていますので、こちらも併せて調査結果と併せてやりたいと思っていますので、そちらも少し公表が遅れる可能性はあります。

したがって、11月中にと言っていますけれど、12月の中旬くらい、中旬というか15日くらいまで遅れるかもしれません。とにかく今、迅速にやろうとしてるところです。すいません。

◆司会

その他いかがでしょうか。静岡朝日テレビさん、お願いいたします。

◆静岡朝日テレビ

静岡朝日テレビです。PFASに関してなんですけれども、この三保の工場の管理する会社自体に、この調査を求めていくとか、その、今、市が調査してると思うんですけど、そこを会社にお願ひするとか、そういったことは考えているのでしょうか。

◆市長

会社内じゃなくて、外の調査についてということでしょうか。

◆静岡朝日テレビ

今、市が調査、市として調査をしているということなんですけれども、この会社として調査するように、その会社側に求めるとか、そういったところは、現時点では考えているのでしょうか。

◆市長

まずは工場の敷地外については、市がこれからも継続して調査したいと思っています。先ほどありましたように、データの取り扱いというのは非常に慎重にやらないといけないですので、本当に信頼度があるかどうかというのは、自分達でやってみるのが一番確実ですので、今回も「ちょっとおかしいんじゃないか」というのがわかったのは自分達でやっているからで、そういった点でこれからも調査については市が、工場の敷地外については市がやっていきたいと思っています。そして、工場の敷地内については、今のところデータを提供いただいていませんが、やはり市のデータが出揃ったところで、工場内のデータについては、しっかり提供していただいて、そして、全体としてどのような状況が起きているのかというのを把握していきたいと思っています。以上です。

◆静岡朝日テレビ  
ありがとうございます。

◆司会  
その他いかがでしょうか。  
静岡新聞さん、お願いいたします。

◆静岡新聞  
静岡新聞と申します。すいません、1点だけ確認で、織部さんが環境政策監になったことへのくだりのところなんですけども、難波さんが、県には、「こっちに来てほしいって要請はしていない」と、「織部さん本人にしか要請してない」って話をされてるところなんですけども、ただ、一方で何も話をせずにとするのは失礼だから、もし辞めたら来てもらいたいという説明というか、挨拶をいちおうしているっておっしゃって、挨拶はいちおうしてるっていうのは、これ、県に対してってことですか。

◆市長  
そうですね、はい。

◆静岡新聞  
いちおうは、県に対しては、そういったことはお伝えはしてあるよ、っていうことをおっしゃってるってことですね。

◆市長  
そうですね。

◆静岡新聞  
はい。わかりました。

◆司会  
その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。  
それでは、以上で本日の記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。

◆市長  
はい。ありがとうございました。